

4 各部門の活動内容

■呼吸器科

○呼吸器科の現状

05年度の入院患者内訳は、肺炎95名、睡眠時無呼吸症候群検査入院126名、肺癌91名（04年3月以前からの継続治療患者、1泊入院の化学療法が主）、気管支喘息71名、COPD37名、間質性肺炎16名、肺結核後遺症11名、器質化肺炎17名、膿胸4名、非結核性抗酸菌症2名、その他です。器質化肺炎が増加傾向ですが、薬物・サプリメントが原因とされる症例が散見されます。

呼吸不全も増加しており、喫煙・高齢化に伴うCOPDや肺結核後遺症が主たる原因となっています。今年度は在宅酸素療法（HOT）が17名、在宅NPPVが16名新規導入となっています。特に高齢者については夜間に低酸素血症となる例が終夜SpO₂モニターで発見され、HOT・CPAPの適応、心不全との関連が注目されます。呼吸不全にともなう低栄養についてはNST活動が徐々に浸透しています。以前から携わっていた包括的呼吸リハビリテーションも継続して取り組まれています。

睡眠時無呼吸症候群については、新規で51名がCPAP導入となり、世間での本疾患に対する注目の高まりを反映しています。Metabolic syndromeなど、循環器・内分泌代謝疾患との関連も注目されています。

06年度からは禁煙外来が保険適応（対象患者が限定）となります。当科でも禁煙外来を開始し、禁煙へ積極的に取り組む予定です。

○呼吸器科週間スケジュール

- 火 17:30～ 新患カンファレンス（医師、看護師、理学療法士）
- 水 13:15～ リハビリカンファレンス（医師、看護師、理学療法士）
- 木 17:00～ 呼吸器画像カンファレンス（放射線科と合同）

呼吸器科 睡眠時無呼吸症候群（睡眠呼吸障害）担当

2005年4月に北海道睡眠研究会にて「睡眠時無呼吸症患者の高感度CRP値の検討」を発表しました。

平成17年に実施した睡眠ポリソムノグラフィー検査は126件です。CPAP治療の新規導入件数は41件です。CPAP治療の他にもスリープスプリント治療目的に歯科に紹介した症例や睡眠衛生指導を行っている症例も徐々に増加しています。今後も睡眠障害（睡眠時無呼吸症候群）診療の更なる普及に向けて取り組む予定です。

文責 原田 尚雄
大久保敏彦